

平成19年度 浅田こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	浅田こども文化センターの管理運営に関すること 浅田小学校・小田小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。 ②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	こども文化センターを地域活動の拠点となるよう日々来館児童へ直接意見を収集した。市民活動団体等が求める内容を意見収集するため、意見箱の設置を行った。運営協議会・こども会議・職員の連携のもと協議し、地域性を活かした行事内容を検討した。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	職員がサポートを行い、こども会議を開催し、必要に応じこども実行委員会を設置した。子どもの主体性を生かした企画運営を行い運営協議会と共に「こども祭り」を開催した。なお、受益者負担の加重を避けるため、安価の設定を行い参加しやすい状況作りをし、会計報告を明記した。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。「こども祭り」の開催において、子どもの主体性を生かし、また、参加者が参加しやすい状況作りを行っていたことは評価できる。

事業の実施に関する こと	こども会議を通して、子どもの意見を反映した事業の実施。子育て支援関係機関との連携の下、子育て支援の拠点としての、役割を担って月1回の「すくすくらんど」の実施。地域教育会議との共催事業「起震車の体験」、「地域の歴史を知ろう」の実施、中学校と地域振興課との連携を図り、中学生の参加依頼を行う。中学生の居場所となる、「職業体験学習」の実施をした。	こども会議を活かし、利用者のニーズを把握したことは評価できる。また、関係団体・関係機関と連携した事業を実施していることは評価できる。今後も、ボランティアの活用に努めること。
個人情報の取扱いに関する こと	紙情報はすべて鍵の掛かる書棚に保管し、電子情報は外部への持ち出しを禁止している。紙情報はシュレッダーにかけ、電子情報は削除をし、個人情報の漏洩を防いでいる。	個人情報の取扱いについては、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関する こと	職員全員への利用者の安全確保を徹底し、館内・庭等の清掃や見回りを日々行ない、危険箇所がないよう安全整備に努め、利用しやすい環境作りを行った。また学校・警察等の関係機関と密なる連携を図り、パトロール強化の実施依頼をした。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、小田小学校・浅田小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。
(2) 利用状況		
①こども文化 センター	延べ利用者数 31,342人 延べ団体利用数 5,320団体 (主な行事等) すくすく子育てらんど 山車、お神輿 (特色のある行事) 職業体験実習	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 浅田小学校わくわくプラザ 登録者数 124人 延べ利用者数 7,745人 (主な行事等) チャレンジタイム 工作 (凧製作) (特色のある行事) 人形劇鑑賞 2 小田小学校わくわくプラザ 登録者数 191人 延べ利用者数 12,203人 (主な行事等) プラバン工作 クリスマスツリー作り (特色のある行事) 壁画制作	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>45,915,999</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>36,575,622</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>3,012,295</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>44,547,751</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>1,368,248</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	45,915,999	支出	人件費	36,575,622		管理費	3,012,295		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		合計	44,547,751		差引	1,368,248	<p>事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p>
収入	指定管理料	45,915,999																														
支出	人件費	36,575,622																														
	管理費	3,012,295																														
	事務経費	1,937,847																														
	その他経費	1,436,042																														
	青少年事業資産取得支出	909,090																														
	減価償却引当資産取得支出	40,492																														
	第1回精算に伴う返納金	636,363																														
	合計	44,547,751																														
	差引	1,368,248																														

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者として子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとの子ども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他の子ども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。